

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	高齢者総合的機能評価を用いた高齢軟部肉腫患者の予後因子分析
	研究目的	<p>高齢者人口の増加に伴いがんや肉腫など悪性腫瘍の発症も高年齢化する傾向にあり、症例ごとの状況に応じた対応が求められるようになる。高齢骨軟部肉腫患者の治療適応を判断する際に、一概に暦年齢のみで判断することは個人差が大きく問題があるとされているが、基準となる明確な指針は存在しない。今後、さらなる高齢化の進展を見据えて、高齢骨軟部肉腫患者の診療の標準化は必須の課題である。</p> <p>高齢者総合的機能評価(Comprehensive Geriatric Assessment; CGA)は、「疾患の評価に加え、日常生活活動度、手段的日常生活活動度、認知能、気分・情緒・幸福度、社会的要素・家庭環境などを、確立した一定の評価手技に沿って測定・評価すること」を指す。本邦では1990年代からCGAへの取り組みが行われ、2003年にはガイドラインが作成された。本研究の目的は、CGAを骨軟部腫瘍領域に応用することで、高齢者骨軟部肉腫患者の治療適応における客観的な評価基準を確立することである。</p>
	研究期間	2015年1月8日から2017年1月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	比留間 徹
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	骨軟部腫瘍外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	国立がん研究センター骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科 川井 章 千葉県立がんセンター整形外科 米本 司 東京大学整形外科 河野 博隆 慶応義塾大学整形外科 森岡 秀夫